

認知症になっても安心して地域で生活できるように

オレンジ・ひらどチーム

(認知症初期集中支援チーム)

がサポートします



オレンジ・ひらどチーム (認知症初期集中支援チーム)とは?

認知症専門医と専門知識をもつ保健師や社会福祉士、ケアマネジャーでチームを構成しています。

チーム員がご自宅を訪問し、心身状況・生活環境の確認・相談を行いながら、生活上の困りごとに対して、医療・介護福祉サービスの必要性や日常生活のサポート方法などをご提案します。

ご相談についての費用はかかりません。

支援の対象となる方は?

40歳以上で、自宅で生活をしており、認知症の症状などでお困りの方で、下記の内容に該当する方です。(ご家族の方や医療機関、関係者の方からのご相談でも大丈夫です。)

- ◎認知症疾患の臨床診断を受けていない方
- ◎継続的な医療サービスを受けていない方
- ◎適切な介護サービスが中断している方
- ◎診断されたが介護サービスが中断している方
- ◎医療・介護サービスを受けているが、認知症の行動・心理症状(妄想・無気力・混乱・徘徊・幻視など)が顕著なため、対応に苦慮している方

どんな支援が行われるの?

チーム員がご自宅を訪問し、ご本人やご家族の生活の様子や困っていることをお伺いして、必要な介護・医療への支援やサービスにつなげていきます。
(おおむね6ヶ月を目安に支援)

たとえば・・・

- ◎医療機関の継続的な受診に向けての支援
- ◎適切な介護サービスが利用できるようにするための支援
- ◎ご家族の方への助言など



認知症は、
早期診断・早期対応が
大切です。

早く気づいて対応することで、その後の病気の経過を遅らせることができたり、介護の負担軽減につなげることができます。

「認知症かな」「認知症だと思うけれど、どうしたらいい?」と思ったら、まずは地域包括支援センターに相談してみませんか?

相談
窓口

平戸市地域包括支援センター

所在地：平戸市岩の上町1508番地3 (平戸市役所福祉課内)

電話：0950-22-4111 (代表)



平戸市包括マスコット
“おんちゃんまん”